

特集 輝く仲間たち (第22回)

毎回、市内でがんばる方々に登場していただきます。
今回は、山梨演劇サークル Life です。

人とのつながり 輪を大切に 今を共有できるよろこび ～山梨演劇サークルLifeの挑戦～

年に一度の感動を目指して

Life では、毎年1回の公演に向けてレッスンを重ねています。これまでに、「ライオンキング」「ネバーランド」「MOMO」「オズの魔法使い」など、名作ミュージカルに挑戦してきました。

特徴的なのは、親子での参加を基本としていること。大人と子どもと一緒に舞台を作り上げることで、世代を超えた絆が生まれ「大人と子どもを分断しない、一緒に活躍できる場を作りたい」という思いがあります。

ダンスや歌が好きでもなかなかやる場所がないことも。Life では甲斐市民を中心に県内各地から仲間が集まり、ミュージカルに打ち込んでいます。



レッスン前の円陣



発声練習の様子

幅広い年代が集う場所

小学生から64歳まで、幅広い年代のメンバーと一緒に演技やダンスに取り組んでいます。年齢に関係なくあだ名で呼び合い、年下でも遠慮せず意見を交わす——そんな風通しの良さも Life の魅力です。

あだ名で呼び合い、レッスン場には笑顔があふれ、子ども達が走り回って遊んでいます。

大切にしていること

Life が大切にしているのは、他者をバカにしないこと、誰かの大切なものを否定しないこと。年齢や立場に関係なく、個人を尊重し合い、フラットな関係を築いています。誰もが安心して自分を表現できる場所を目指しています。

大人も子どもも7つのセクションに分かれて運営や舞台づくりの役割を担っています。メンバー全員がそれぞれの得意分野を活かしています。

甲斐市のメンバーに聞きました 舞台の魅力とやりがいは何ですか？

コーヘイさん:

演技やダンスがとにかく楽しい。プロにならなくても、ずっと舞台を続けていきたい。

さとねさん:

学校も年齢も違う人と友達になれる。公演後の達成感は格別。

ひかるさん:

親に連れられてきたけど、演技やダンスが楽しくなった。舞台の充実感は病みつきになる。

まりあさん:

ミュージカルが好きだったが、発表の場がなかった。学校とは違うLifeは大切な場所。

かーか（代表）:

リアリズムの演劇。役を考え、理解して、自分の意識を舞台に持ち込むことができます。目的を持ち続け、常に考え続けるのでとても疲れますが、舞台後の充実感はここでしか味わえません。

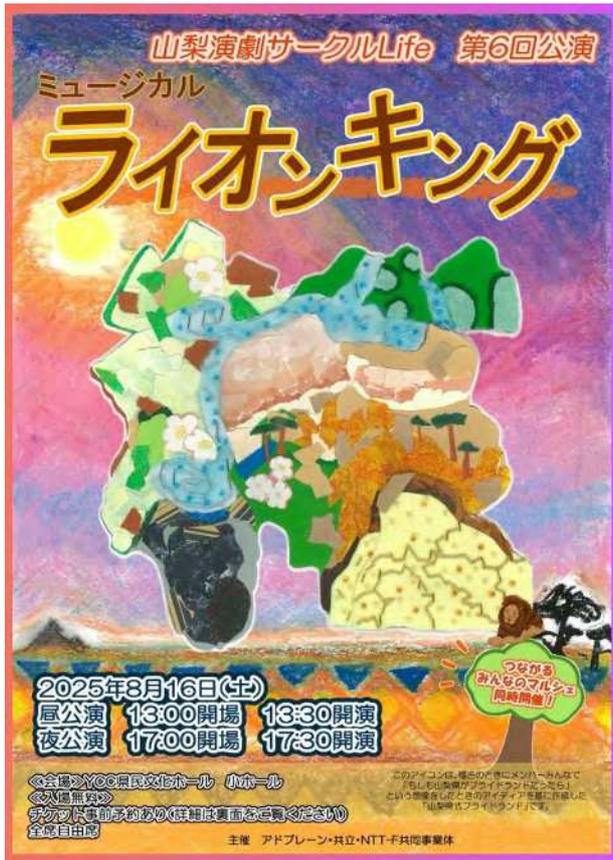


甲斐市のメンバー

代表インタビュー 今年の公演はライオンキング

8月16日に「ライオンキング」を上演予定です。実はこの演目、団体結成後初めて挑んだ思い出深い作品です。原点を振り返る意味を込めて、選びました。前回は人数が足りずあきらめた場面も、今年はメンバーが増え、さらにパワーアップした舞台をお届けします。世代や経験を超えて、だれもが主役になれるLifeの舞台を皆さんもその感動を体感しに劇場へいらしてください。

会場でマルシェを開催します。公演が終わった後も楽しめるよう考えました。夏休みの1日をLifeと一緒に楽しみましょう。



ライオンキングの上演は YCC 県民文化ホールで
入場無料です



昨年の演目 オズの魔法使い



←予約フォームこちら

山梨演劇サークルLifeの
Instagram

